

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして

# 日造協

2018. 12月  
通巻 第537号

## 日造協 ニュース

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

### 本号の主な内容

- 2面 【学会の目・眼・芽】造園技術の「伝統」と「革新」の発信に向けて  
(公社)日本造園学会理事・京都大学大学院地球環境学堂准教授 深町 加津枝
- 2,3面 【特集】第13回 全国造園フェスティバル  
日造協会員が72会場でさまざまなイベントを実施  
山形・福島・神奈川・愛知・三重・宮崎
- 4面 【ふるさと自慢】岐阜県支部 平野りかこ (株岐阜造園)  
岐阜といえば「金華山」黄金の信長公がお出迎え  
【緑滴】長崎県支部 三浦 理恵 (株庭建)  
社員旅行はやめられない！



造園競技の様子

第56回技能五輪全国大会が11月2日から5日まで沖縄県で開催され、42職種の競技が行われた。

造園職種は3、4日、浦添市の浦添ふ頭南緑地において、青森から地元沖縄までの22都府県より30チーム、60名が出場した。当日は天候に恵まれず、激しい雨の降る一幕もあったが、選手たちは練習の成果を競い合った。

本大会は、23歳以下の技術者を対象に開催される。造園職種は今回6×4mの区画に、施工図に示す庭園を二人一組で見栄えよく作庭する競技となり、競技時間は10時間30分を標準とし、その後30分で作業打ち切りとなる。

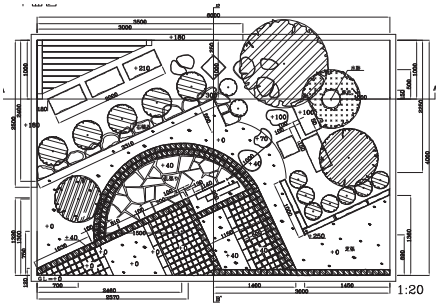
課題は、野面積み・小端積みによる石

積み、乱張りを含む土ぎめの小舗石、竹垣やベンチの製作、敷石と飛び石、水鉢の設置、高木及び中木・低木・下草・花卉の植付けなど。当日は荒天に対する救済措置として、このうち竹垣の作成が省略された。参加者は悪天候にも負けず懸命に取り組んだ。

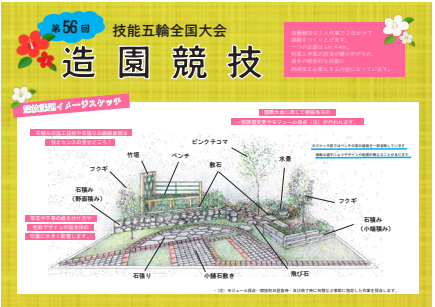
結果、金賞は(株)近江庭園(滋賀)石坂暢琢氏、宇都宮盟氏ペアが受賞し、来年のロシア(カザン市)の国際技能競技大会に出場する。

そのほか、日造協会員では金秀建設(株)(沖縄)の當間元士氏含むペアが銀賞を受賞した。出場された技能者が、今後造園界で活躍することを期待したい。

技術委員会技能五輪部会 神谷朝貞



課題平面図



造園競技の案内リーフレット

### 公園緑地対策特別委・都市公園緑地等整備促進議連合同会議

## 公園緑地予算など7項目を要望

日造協は、平成31年度公園・緑地に関する予算等の要望について11月13日、自由民主党都市公園緑地対策特別委員会・都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議において行った。

当日は、日造協の和田新也会長、(一社)日本造園組合連合会荻原博行理事長、(一社)日本公園施設業協会内田裕郎会長がともども出席した。

会議では、3団体を代表して、和田会

長から平成31年度公園・緑地に関する予算等の要望を行い、正本事業委員長が3団体の要望内容を具体的に説明した。

- 一、都市公園等関係予算の拡大・確保
- 二、都市公園のストック再編、安全・安心対策、長寿命化対策の支援の推進
- 三、東日本大震災復興事業予算及び熊本地震復興関係予算の確保
- 四、緑・花・庭を通じた国際交流関係予算の確保・拡大

- 五、造園工事の適正な発注等
- 六、緑地育成工事の認識の徹底、活用促進
- 七、市民緑地認定制度に係る固定資産税等の特例措置の延長について

また、同日には、自由民主党予算・税制等に関する政策懇談会において、平成31年度予算・税制に関する同様の要望を行った。



3団体を代表して要望を行う和田会長

## 樹林

(一社)日本造園建設業協会理事  
(株)多々良造園 代表取締役 多々良健司



### “山口ゆめ花博”舞台裏

2018年9月14日、第35回全国都市緑化やまぐちフェア開幕。入場目標値をはるかに上まわる延べ1,368,445人の方々が来場、11月4日に閉幕した。

会場は、山口市阿知須にある「山口きらら博記念公園」。名称にあるように、2001年に開催された「山口きらら博(21世紀未来博覧会)」会場を、2002年に「山口県立スポーツ交流公園」として再整備した。

国民体育大会や全国植樹祭・日本と世界のスカウトジャンボリー大会など全国規模の大会や音楽コンサートも続々開催される中、園内は通常の維持管理業務はされるものの遊具やベンチなども劣化し、芝生広場も荒れさみしい公園になってきたところだった。

山口県、山口市、(公財)都市緑化機構共催のフェア推進事務局が設置され、2015年11月には第1回目の懇談会を開催した。

民間では、造園関係6団体による「山口県緑化推進協議会」を構成、私が代表となりこの会議に出席した。

県内各団体・有識者より様々な意見・要望が飛び交い、事務局とはその後も情報交換・提案を繰り返した。

折しも国では新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方が検討されていた時期であり、フェアのプロデューサーからも、フェアを整備後時間のたった都市公園に新たな命を吹き込む実験の機会としたい旨を聞かされた。

造園人としては初めての試み。早速、県内5カ所で「県民会議」が催され、会員も参加した。

基本計画で、やまぐちフェアの開催テーマ「山口から開花する、未来への種まき。～150年を振り返り、次の

150年につなぐ～」を発表。2017年5月の記者会見でプロデューサーは、「県民会議の意見を組み込み、…公園の新しい使い方を発信したい。…行政だけでなく、いろいろな人が考えることで、新しいビジネスにもつながるのではないか」と。

花とみどりのイベントの魅力づくりとして、1異空間・非日常、2学び・発見、3記念・思い出の3つのポイントに整理され、花みどりに精通した愛好家とファミリーからシニアまでの一般客に対して誘客計画が進んでいく。

開催前のプロモーションは、車ででの来場を想定し、近隣(中四国～九州)に向けて発信される。1千万輪の花で彩り、日本一高いブランコや日本一長い竹滑り台など、キャッチーなコピーでワクワク感を醸し出すのに成功した。

われら造園人は、「庭のパビリオン」に庭を出展。先の愛好者から一般客に各社のメッセージを届きやすくことを狙い、4つのカテゴリーを設けて参加を募る。幸い敷地に余裕もあり、各社の思いを反映できる敷地も用意出来た。

また、出入り禁止の展示方式でなく庭園内に入り込んでもらう仕掛けや、夜9時閉園を睨んでライティングも必須とした。

この記事が出るころには、「ここから始まる！ゆめの未来公園づくり会議」が催されている。

造園連の青年部や姉組(女子技術者)など庭を出展してもらった若手にも声を掛け、分野別(設計・造園・アクティビティ関係者)ワークショップに挑む。思いのたけを聞いてみたい。

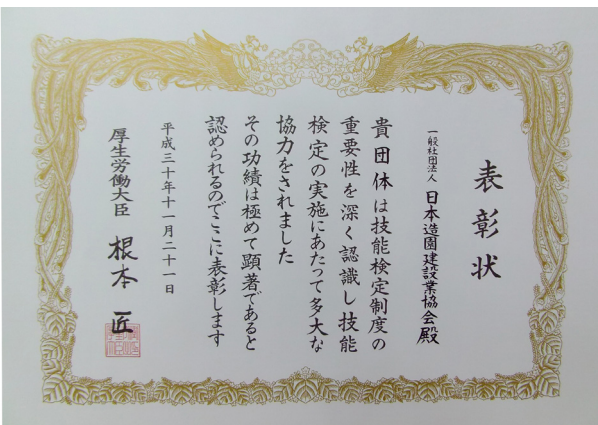
## 技能検定実施協力の功績で 日造協が厚生労働大臣より表彰

日造協が厚生労働大臣表彰を受賞しました。

今回の受賞は、技能検定制度の重要性を深く認識し、技能検定の実施にあたって、多大な協力を行い、その功績が極めて顕著であると認められたもの。

表彰式は東京・港区の明治記念館で11月21日、人材開発促進月間の一環として開催された「職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」の席上で行われ、

根本匠厚生労働大臣より、表彰状と銀杯をいただきました。



厚生労働大臣よりいただいた表彰状



# 第13回 全国造園フェスティバル

## 日造協会員が72会場でさまざまなイベントを実施

「全国造園フェスティバル」は、都市公園法施行50周年の記念事業として、造園の認知度向上や地域との連携強化などを主な目的にスタートしました。

フェスティバルは、「花と緑で美しい日本を！」をテーマに、10月をコア月として全国の日造協会員が中心となり、それぞれの地域の公園や広場で造園の素晴らしさ、技術やセンスを広く知っていただこうと様々なイベントを実施しています。本号ではその一部を紹介します。

### 山形 恒例の「児童遊園」での剪定を実施

山形県支部の「造園フェスティバル」は、山形市で山形地区会（11社）が山形市内児童遊園の剪定ボランティアをしています。

児童遊園を所管する山形市子育て推進部・こども福祉課が市内町内会から剪定の要望を受け、山形市社会福祉協議会を通して山形地区会がボランティアをするといった連携で実施しております。

今年は沼木パークタウン内の「沼木第三児童遊園」です。シダレヤナギ、ケヤキ、カツラ、ソメイヨシノ等の高木が茂り暗くなった状態です。作業前に「造園フェスティバル」の幟を立てて町内にPRするとともに、トラックから脚立や梯子、チェーンソーを降ろします。

全員が整列して山形市子育て推進部・こども福祉課担当者と山形市社会福祉協

議会担当者からごあいさつをいただき、作業手順を確認した後に2～3人がチームを組み作業開始です。程なく、報道各社が取材を開始。インタビューとともに剪定を撮影します。インタビューでは「子供たちが健康で元気に遊ぶ公園です。安全が第一です。」と元気に答えました。

剪定する造園工は各社のエースです。うっそうとしていた樹木が見る見るうちにカラッとして行きます。作業を見守っていた町内会長から「スピードと鮮やかさに驚き、感動した」とお褒めをいただきました。発生材は2tトラック4台分でした。最後は綺麗に掃き掃除を行い終了しました。当日の夕方、テレビニュースで放映があり、後日新聞記事になりました。

山形県支部 栗野秀一（内外緑地株）



作業前の市ご担当者あいさつと剪定作業のようす



### 福島「ひろげよう！街に暮らしに緑の輪」

福島県支部は、県造協との共催で10月27日に「道の駅南相馬」（南相馬市）で「みどりの相談所開設」や花の種、造園をPRするチラシの配布を行いました。

また、地域の緑化環境の充実と推進はまずはお庭からという主旨で、毎年開催する造園フェスティバル会場において1カ月間にわたりお庭を2つ展示し、作

庭の段階から一般の方にも公開をし、庭づくりの技を観ていただきました。

さらに、このプロジェクトの主旨に賛同していただける方を、今回は相双方部（南相馬市、相馬市、双葉郡、相馬郡）から募り、お庭を希望される方に差し上げました。選定は、応募用紙にその庭を選んだ理由と周囲の公園や緑化環境への

ご意見を書いていただき、その思いを尊重しながら行いました。

この相双方部は、原発事故の影響で地域によりさまざまな状況を抱えておりますが、あの原発事故から7年8カ月。



展示した庭のプレザントを実施

町や各家庭の除染も終わり、公園には再び人々が集い、庭には花や野菜の種を蒔けるようになりました。

応募用紙には、公園や庭に癒される喜びや緑豊かな環境が日常生活でどれほど大切なことかが綴られていました。

今回は63件の応募がありましたが、緑豊かな公園の整備や癒しの庭を求めている方の何と多いことか。

造園や庭の魅力のヒントは、もしかしたら一般市民の皆様の声にあるのかもしれませんが。そんなことを感じた造園フェスティバルでした。

福島県支部 d中嶋 都（事務局）



### 神奈川 明治150年 明治記念大磯邸園に合わせて開催

神奈川県支部は、例年10月に「県立相模原公園オータムフェア」にあわせ造園フェスティバルを実施してきたところですが、今年度は国の施策である「明治150年 明治記念大磯邸園」にあわせて、「県立大磯城山公園旧吉田邸地区」で開催しました。

明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績などを次世代に遺そうと、滄浪閣（旧伊藤博文邸）、旧大隈重信邸、旧陸奥宗光邸や旧西園寺公望邸の建物や緑地などの整備が閣議決定されました。

「この機会に大磯の地から造園の技術とセンスを全国にアピールしていこう」と神奈川県内の造園業界全体で機運が盛り上がりました。

あいにく当日は朝から雨でしたが、地元の方々や、県外、国外の観光客など大勢の方々が「旧吉田邸地区」に来園されました。

日造協本部より提供されたポスターと神奈川県支部で毎年実施している第11

回街路樹フォトコンテスト入賞作品の展示や花苗（パンジー）と花の種を無料配布しました。「ありがとうございます」といって嬉しそうに持っていく方々を見ると花やみどりの大切さを感じました。

午後からは、この明治記念大磯邸園にあわせ、フェスティバルでは初めての講演会（講師：坂本政美（公財）かながわトラストみどり財団理事）「大磯周辺地域における邸園と公園と緑地について」を開催（旧吉田邸地区管理休憩棟）しました。

午後も雨脚が強く、講演会にお客様は来るのだろうかと心配しましたが、多く



学会の目・眼・芽 第95回

### 造園技術の「伝統」と「革新」の発信に向けて

（公社）日本造園学会理事・京都大学大学院地球環境学堂准教授 深町加津枝

2018年5月に京都大学で行われた日本造園学会全国大会において、「京都から発信する造園技術の伝統と革新」と題するミニフォーラムが行われた。造園に関わる京都市の行政や技術者の方々（山田拓広氏、加藤友規氏、片山博昭氏）からの話題提供に基づき、「伝統」と「革新」という観点から今後の造園技術のあり方について議論がなされた。

◆

話題提供の中では、「さわり」、「さえぎり」、「縮景」、「借景」といった限られた町家の庭空間に美を凝縮する技術とともに、新しい素材や創造的なデザインの事例、プレ製造によるユニット工法の採用、輸送方法の高度化による

旅館の庭の施工工期の大幅な短縮の事例などが示された。

こうした技術は、日照が少なく植物の成長が遅い町家の庭の特徴や、庭の施工期間を最短にしたいという旅館の事情を最大限考慮する中で見出された造園技術といえる。

また、京都市による街路樹の管理に関しては、二段階剪定や選定技術の高度化などによって、街路樹が観光資源（京都の都市の顔）となったことが紹介された。

そして、「不易（変えてはならないもの）と流行（変えねばならないもの）を念頭に、過去の革新を積み重ねた結果、現在の伝統が形成される」、「革新とはその時代ごとの施主の要求や要望を超えていくこと」、「政策・技術・市民の力を

それぞれ磨きながら、融合し、関係性を深めていくことこそが、造園技術の伝統を守り革新していくことに繋がる」など、示唆に富んだ提言がなされた（ランドスケープ研究82巻2号参照）。

◆

造園学会では、2001年度から隔年に学会誌の増刊号という位置づけで「技術報告集」を刊行している。2019年には第10号が発刊されることになっており、一つの節目を迎える。

「技術報告集」は、学会員による造園技術に対する評価、論考あるいは学術的価値の高い伝統的技術の記録、将来における技術の展望、より広範な技術のうち価値のある有用な技術などについての投稿によって成り立っている。

◆

造園技術には、古典的伝統的スキルから最新の造園科学まで幅広く含まれ、様々な場における調査、計画、設計、施工、維持管理など広範囲にわたって

きている。

地域固有の自然や伝統文化に根差した造園技術とその発展のための叢智、経験を蓄積するため、現場で活躍する多くの造園技術者の「伝統」と「革新」の発信の場として「技術報告集」がさらなる役割を果たすことを期待したい。



造園学会ミニフォーラム（2018年5月）



の方々に足を運んでいただき、大磯周辺の邸園のお話にうなずきながら熱心に聞き入っている姿が印象的で、講演も無事に終了し、フェスティバルが盛況に終わることができました。

フェスティバルの開催にあたりましては、(一社)神奈川県造園業協会、(公財)神奈川県公園協会、NPO 法人 GIP、そして大磯城山公園管理事務所の協力を得て実施することができたことを厚くお礼申し上げます。

来年度も、今まで以上にさまざまな取

り組みを行い、花と緑の大切さ、造園の魅力をアピールすることに努めていきたく



大磯城山公園

いと思います。

神奈川県支部 宮越 亨（事務局）



旧吉田邸地区で行った講演会のようす

常に多くにぎわっている中、子供用プールにて、人形すくいや花の苗種の配布など、造園の認知度向上や地域住民などに造園の魅力を PR するとともに、緑の大切さを周知することができたのではないかと思います。

愛知県支部 岩間紀久裕(岩間造園(株))



## 愛知 造園の魅力 PR と緑の大切さの周知図る

愛知県支部は 10 月 20 日（土）に造園フェスティバルを開催いたしました。

会員が指定管理をしている名城公園内にて、『緑と花に親しもう名城公園夢・花なごや 2018』のイベント催事が開催



多くの家族連れで賑わっている公園と造園フェスティバルのイベント、関係者

## 三重 県営公園のお祭りと合わせ開催 闊達な意見交換も

三重県支部では、毎年秋に県営都市公園北勢中央公園で開催される公園のお祭りに合わせ、「全国造園フェスティバル」を行っています。

北勢中央公園は三重県北勢部の河岸段丘上の台地にあって、森林、畦畔草原、水田、河川、ため池などから構成される豊かな里山の生態系の中に立地しています。

このイベントは地域に貢献できる公園を目指して周辺の住民のみならず、県民の憩いの場として広く愛され続ける公園造りと認知拡大の一環として開催しており、マルシェを中心としてステージイベントやフードエリア、ワークショップ等があり、毎年多くの人々が来園しています。

そのイベント協力として、花苗 300

ポット無料提供し、運営本部のテント傍にて PR ブースを設け、ポスターの掲示、チラシと花の種 500 袋を無料配布等の造園業界の PR を行いました。花苗の無料配布は、毎年大変な好評をいただき、その度に人の心に作用する花の力を感じさせられます。

またイベント開催中には、緑の相談窓口を設け、市民からの緑に関する相談を受けました。

公園周辺は、広いお庭を持ち、植木や花壇に積極的に取り組んでいる方が多く、闊達な意見交換が出来ました。今後の展開としては、花だけでなく樹木にも親しんでもらえるような仕掛けや工夫を考えていきたいです。

これからも三重県支部では、このようなイベントに合わせ、積極的な造園業界

の PR と緑や花に対する大切さや魅力を多く発信して行くよう努めます。

三重県支部 田中清平（株名阪造園）



会場のようす

たと思います。

宮崎県支部は、毎年このようなイベント等に積極的に参加して造園の人材確保および緑化意識の理解、業界の PR に努めてまいりたいと思います。

宮崎県支部 弓場雅巳(弓場緑地建設(株))

## 宮崎 盆景教室が盛況、緑化相談にも1つ1つ対応

宮崎県支部では、10 月 28 日（日）に宮崎県小林市立南小学校にて毎年開催されている「南小まつり」に合わせて、全国造園フェスティバルを開催しました。

この日は、「PTA 食バザー」や「防災フェスタ」、「お茶体験」、「しおり作り」、「ちぎり絵」、「木工作品作り」、「絵手紙」、「和楽器体験」、「トールペイント」などさまざまな体験活動を南小の子どもたち、保護者や祖父母、南小周辺の地域の方々と一緒に活動を行いました。

私たち日造協では、パネル展示、緑の相談所、盆景教室及び本部より支給していただいた花の種とパンフレットを無料配布しました。

当日は、晴天で青空の下、小学生の子供たちはもちろんのこと保護者のお父さん、お爺ちゃんも一緒に盆景づくりに、とても熱心に取り組んでおりました。自分で作り上げた盆景を参加した会員が講評しました。

盆景の維持管理の仕方を説明して、盆

景教室は、多くの参加者の方々と共に、盛大に開催しました。

また、「パネル展」および「緑の相談所」では、自宅の庭の相談や剪定の仕方・時期について相談され 1 つ 1 つ対応して返答したことで、造園の仕事や役割一番は、私たち当協会の組織が、より多くの人々に理解していただ



熱心に盆景づくりを行う参加者



日造協のパネル展示



盆景の材料

第 13 回 全国造園フェスティバル 開催地一覧

No.	都道府県	開催日	開催会場
1	北海道	8/4	国営滝野すずらん公園
2	青森県	11/3	八戸市庁舎前広場
3	宮城県	10/27	国営みちのく杜の湖畔公園
4	秋田県	9/8-9	エリアなかいち「にぎわい広場」
5	秋田県	10/13	秋田市御所野総合公園
6	山形県	10/17	沼木第 3 児童遊園
7	福島県	10/20	道の駅 南相馬
8	栃木県	10/6	宇都宮城址公園
9	群馬県	9/22	前橋公園
10	埼玉県	11/14	埼玉県庁
11	〃	9/23	所沢航空記念公園
12	千葉県	10/6	千葉県立行田公園
13	〃	10/8	千葉県立幕張海浜公園 B ブロック
14	〃	10/21-22	天沼弁天池公園
15	東京都	5/25	馬事公苑
16	〃	6/9-10	東久留米市役所
17	〃	10/20-24	日比谷公園
18	〃	11/3	桃井原っぱ公園
19	〃	10/27	二子玉川公園
20	〃	10/6	東京臨海広域防災公園
21	〃	10/21	都立戸山公園
22	〃	10/27	港区立芝公園
23	〃	11/3-4	都立代々木公園 B 地区
24	〃	10/19	浜町公園
25	〃	10/20	月島第一児童公園
26	神奈川県	11/4	神奈川県立大磯城山公園
27	山梨県	9/28	甲府駅前広場
28	〃	10/20-21	小瀬スポーツ公園
29	長野県	10/8	松本平広域公園総合球技場アルウィン
30	新潟県	10/6	国営越後丘陵公園
31	富山県	10/25	富山県民会館
32	石川県	9/1	犀川緑地
33	〃	9/23	西部緑地公園
34	〃	10/8	奥卯辰山健民公園
35	岐阜県	10/6	国営木曽三川公園
36	静岡県	10/20-21	アクト通り 及び 東ふれあい公園
37	愛知県	10/20	名城公園
38	三重県	11/10	三重県北勢中央公園
39	福井県	10/20	足羽山公園遊園地「ふれあい動物舎」
40	滋賀県	10/27-28	大津湖畔なぎさ公園サンシャインビーチ周辺
41	滋賀県	10/28	荒神山公園
42	京都府	10/6	梅小路公園
43	大阪府	11/25	大阪市福島区役所
44	兵庫県	11/3	神戸市立相楽園
45	奈良県	10/21	大和郡山市総合公園
46	和歌山県	10/8	和歌山マリーナシティイコラストリート
47	岡山県	10/20	西大寺緑花公園
48	広島県	11/17	竜王公園
49	〃	10/7-8	国営備北丘陵公園
50	鳥取県	10/13-14	米子市弓ヶ浜公園
51	〃	11/18	くにびきメッセ
52	山口県	9/22	亀山公園山頂広場
53	〃	10/20-21	海峽ゆめ広場
54	徳島県	10/8	あすたむらんど徳島
55	香川県	10/6-8	国営讃岐まんのう公園
56	〃	10/20-21	高松市立仏生山公園
57	高知県	10/6	高知県立池公園
58	〃	10/6	高知市中央公園
59	愛媛県	10/13	愛媛県立とべ動物園
60	福岡県	10/21	白野江植物公園
61	〃	10/28	遠賀川河川敷「遠賀川わくわく夢フェスタ」
62	〃	10/7-9	福智山ろく花公園
63	〃	10/14	海の中道海浜公園
64	佐賀県	11/10	田代運動公園
65	〃	10/14	玉島川河川敷「鮎まつり」
66	〃	10/14	金立公園コスモス園
67	長崎県	10/27-28	長崎県庁
68	熊本県	9/23	水前寺江津湖公園 広木地区
69	大分県	10/1	ハーモニーランド
70	宮崎県	10/27	山形屋四季ふれあいモール(ボンベルタ横ポケットパーク)
71	鹿児島県	10/21-22	かごしま県民交流センター
72	沖縄県	10 月中旬	沖縄県営公園



ふるさと自慢

岐阜県

## 岐阜といえば「金華山」

## 黄金の信長公がお出迎え



岐阜城・金華山

最近では岐阜といえばNHKの連続ドラマ「半分青い」を思い浮かべる方が多いと思います。

私にとって岐阜といえばやっぱり「金華山」です。金華山の山頂にある岐阜城はかつて織田信長の居城で

あったことで有名ですね。

私は金華山の近くの町に生まれ、幼い頃から金華山の周辺を遊び場としてきました。



金華山のふもとには明治21年開園の岐阜公園が広がっていて、信長の庭や子ども広場などさまざまなスポットがあり



岐阜公園・信長の庭

市民の憩いの場となっています。

実は私が現在勤めている会社の創業者がずっと昔に岐阜公園を今の姿に改修したと知り、学生時代の私は不思議な縁を感じて入社を志望しました。

岐阜公園からはロープウェイで金華山山頂へアクセスできるほか、複数の登山口があり、休日は登山スタイルの人達が多く訪れています。



このほか金華山の周辺には、子供たちに大人気の金華山山頂のリス村や、奈良・鎌倉の大仏と並んで日本三大大仏といわれる岐阜大仏、また昭和7年に作られ岐阜県近代遺産に選ばれたロボット水門、そして信長の時代には港町として栄えた川原町のレトロな町並みなどたくさん見どころがあります。



また、長良川の花火大会は一晩で3



金の織田信長像



岐阜大仏



川原町のレトロな町並み



ロボット水門

万発が打ち上げられる日本でも有数の花火大会です。

この花火大会、実はひと夏に2回も開催されているんですよ。

そして、忘れてはいけない最近話題のスポット。岐阜の名付け親である織田信長公。現在、彼は身長3mの黄金の像となって、岐阜駅前で岐阜を訪れたお客さんを出迎えてくれています。

平野りかこ（株岐阜造園）



宝塚のラインダンス

やっと秋らしくなって来た10月、社員旅行に行ってきました！

いつもは「九州の温泉地」が定番なのですが、2年ぶりということで九州を脱出！

さて、今回の旅行のメインは、日本植木の三大産地といわれる宝塚研修なのですが、私的メインは「宝塚鑑賞」と「神戸フリー散策」！



1日目、ミュージカルを生で初めて観るということで、上演前は噂の“あの羽”や“ラインダンス”

が観られるなんて！でも、変なところで笑ったりしたら！？と、楽しみ半分不安半分でしたが、楽しみだった“あの羽”も“ラインダンス”も見ることができ大満足！



2日目、もう1つのメインイベント「神戸フリー散策」。

いつもは観光がメインで、今回のようにガッツリ買い物目的ではないので、気合の入り方が違いました！

観光本を購入し、後輩とシュミレーションし臨んだ当日、お目当ての店が



南京町、ポートランド

移転していて拍子抜けし、買い物は一旦置いて観光しよう！と目的地へ行く途中、運命の出会いが！偶々通った商店街で、閉店セールに遭遇。

良くある閉店詐欺かと疑いながら、店内を見てみると、1万円超え本皮バッグがなんと全て3,000円！！テンションが上がった私達は、それぞれ3個も購入！その後は勢いがつき、栄町通りの雑貨店でまたまた購入！

もちろん、観光もし、神戸ポートタワーで写真をパチリ！大々満足なフリー散策となりました！

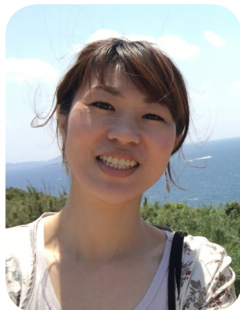


また宴会では、今年入った新入社員たちの余興や、日頃なかなか話す機会のない方との語らいもあり、親交を深めることもできました。

これがあるから、社員旅行はやめられません！終わったそばから、次はどこへ行こうかと計画中です。

今後も連れて行ってもらえるよう、仕事を頑張ろうと思います。

株三浦庭建  
長崎県支部  
三浦庭建  
三浦庭建



## 事務局の動き

【11月】

- 1 (木)・東北総支部・支部交流会
- ・担い手3法と人材育成確保、働き方改革等説明会
- 2 (金)・技能五輪全国大会開会式(3,4競技、5閉会式)
- 4 (日)・第35回全国都市緑化やまぐちフェア閉会式
- 6 (火)・北海道総支部・支部交流会
- ・広報活動部会
- 7 (水)・北海道総支部と開発局等との意見交換会
- 9 (金)・植栽基盤診断士認定試験(実技試験)～10

- 12 (月)・URとの技術意見交換会
- 13 (火)・都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議
- 14 (水)・植栽基盤診断士認定試験(実技試験)～15
- 15 (木)・建専連(建設部長との意見交換会)
- ・建専連(全国大会)
- 20 (火)・北陸総支部と北陸地方整備局との意見交換
- ・北陸総支部・支部交流会
- ・植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
- 21 (水)・厚生労働大臣表彰式(職業能力開発関係)
- ・登録造園基幹技能者講習(福岡会場)～22
- 22 (木)・安全部会

- ・造園工事の高所作業標準マニュアル検討会
- 25 (日)・高校安全テキスト編集・審査合同会議
- 28 (水)・近畿総支部と近畿地方整備局との意見交換
- ・近畿総支部・支部交流会
- ・植栽基盤診断士認定委員会
- 29 (木)・中部総支部・支部交流会

【12月】

- 3 (月)・担い手3法と人材育成確保、働き方改革等説明会
- ・関東・甲信総支部交流会
- 4 (火)・広報活動部会
- 6 (木)・総務企画部会
- ・建専連 理事会
- ・台中博覧会視察ツアー～12/9
- 11 (火)・街路樹剪定士認定委員会(試験部会)
- 12 (水)・資格制度委員会
- 14 (金)・四国総支部・支部交流会
- ・造園の仕事を知ろう(出前講座)
- ・街路樹剪定士認定委員会
- 17 (月)・運営会議

【1月】

- 7 (月)・新年造園人の集い

編集後記 原稿ぎりぎりまで届かないドキドキも今日で終わり？皆様のご協力で12月発行できそうです。ぜひ、来年のご協力も切にお願いいたします。今夜忘年会ができる？

## 2019 新年造園人の集い 2019年1月7日(月) 17:50より

品川プリンスホテル 東京都港区高輪4-10-30 ☎03-3440-1111  
アネックスタワー5階 「プリンスホール」

皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！